

## 熊本地震に学ぶ首都圏の地震防災

主催 公益社団法人日本地震工学会

後援：日本地震学会、土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本機械学会、  
日本火山学会、歴史地震研究会（すべて予定）

2016年の4月に発生した熊本地震では震度7が2度観測され、甚大な被害に見舞われた。しかし、歴史を紐解けば、この地域では過去にも同じような地震が発生しており、熊本城でも被害を受けていた。自分たちが住む町において、過去にどのような地震が発生して、どのような被害であったかを知ることは、地震防災のための第一歩であるといえる。一方、2016年の熊本地震では、築年数が比較的新しい木造住宅も被害を受けていた。このような被害の特徴を明らかにすることは、我々が住む町の地震防災にも大いに役立つと考えられる。また、この地震を引き起こした活断層によって、地表のずれが三十キロ程にわたって生じたことも、熊本地震のもう一つの特徴である。首都圏にも活断層の存在が知られており、今回の講演会によって、今後、首都圏で活断層とどのように向き合っていけばよいかのヒントも得られることを期待する。

**日時：2017年2月3日（金）13:00～16:30**

**場所：パシフィコ横浜・アネックスホール（横浜市西区みなとみらい1-1-1）**

1. プログラム：13:00～16:30

司会 宮腰淳一（震災予防講演会WG主査・清水建設株式会社）

開会挨拶 目黒公郎（日本地震工学会会長・東京大学生産技術研究所教授）

（1）歴史から学ぶ熊本地震（仮題）

武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター 教授）

（2）熊本地震の木造被害の特徴（仮題）

花井勉（（株）えびす建築研究所 代表取締役）

（3）内陸活断層と首都圏の地震防災（仮題）

大木聖子（慶応義塾大学環境情報学部 准教授）

質疑応答

2. 資料代：1,000円

3. 定員：150名（先着順）

4. 申込方法：参加申込書に記入の上、メール（又はFAX）にてお申し込みください。  
参加証はメールにてお送りいたします。当日、参加証をお持ちいただき、資料と引き換えてください

5. 申込み・問合せ先：日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館

電話 03-5730-2831 FAX 03-5730-2830

e-mail：office@general.jaee.gr.jp